

原子力事業所の防災訓練の要旨

1. 防災訓練を実施した原子力事業所
京都大学複合原子力科学研究所
2. 防災訓練の実施日
2020年11月24日
3. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要
平日昼間帯に発生した震度6強の地震により、5 MWにて運転中であったKURの炉心タンク水位が低下し全面緊急事態（GE）に至る事象を想定。
4. 防災訓練の項目と内容
(項目)： 総合訓練
(内容)：
 - (1) 通報訓練
 - (2) 情報連絡訓練
 - (3) 緊急時除染・搬送訓練
 - (4) モニタリング訓練
 - (5) 避難誘導訓練
 - (6) その他の訓練
 - ・ 参集点呼訓練
 - ・ 緊急時体制の構築訓練
 - ・ 広報活動訓練
 - ・ 応急復旧訓練
 - ・ BDBA*対策訓練
 - ・ 資材調達・輸送訓練
 - ・ 要員派遣、資機材貸与訓練
 - ・ 外部機関との連絡調整訓練
 - ・ 消火活動訓練

* BDBA：設計基準（想定）を超える事故
5. 防災訓練の結果の概要
 - (1) 通報訓練
警戒事態、施設敷地緊急事態、全面緊急事態の発生および事態の進展状況に応じて、適切に関係各所への FAX 通報と着信確認を行なった。
 - (2) 情報連絡訓練
緊对本部内での情報共有、所内外関係機関への情報発信、ERC プラント班との常時通話接続による情報連携を行った。ERC プラント班からの質問に対しては、回答漏れのない対応を行った。
 - (3) 緊急時除染・搬送訓練
外部汚染した負傷者の状況を情報共有し、除染と応急処置を行なった。
 - (4) モニタリング訓練
緊急事態の発生を受け、緊急時モニタリングを行い、結果を定期的に緊对本部へ連絡した。

(5) 避難誘導訓練

事象発生直後に要員以外の職員、学生等の避難場所への避難誘導と点呼、管理区域内の在域人数の把握、在域者の搜索、誘導を行った。

(6) その他の訓練

・ 参集点呼訓練

緊急対策本部員、緊急作業団員の参集を行った。

・ 緊急時体制の構築訓練

地震の発生に伴い、緊急対策本部の設置と運営、緊急作業団の招集、現地指揮本部の設置と運営を行った。

・ 広報活動訓練

緊対本部にて、発生した緊急事態の状況、進展予測および対策に関する広報文の作成および web ページへの模擬掲載を行った。

・ 応急復旧訓練

空気呼吸器等を装備して、炉心タンクの漏洩箇所の調査を行った。

・ BDBA 対策訓練

可搬型消防ポンプによる炉心タンク水位の復旧を行った（送水は模擬）。

・ 資材調達・輸送訓練

応急復旧に必要な資機材の調達、輸送、および原子力事業者災害対策支援拠点への資機材輸送を行った。

・ 要員派遣、資機材貸与訓練

オフサイトセンターへの要員派遣（緊対本部での指示まで）を行った。

・ 外部機関との連絡調整訓練

原子燃料工業 熊取事業所への支援要請（連絡まで、実動はなし）を行った。

・ 消火活動訓練

公設消防と連携し、構内での火災（一般建物）を想定した消火活動訓練を行った。